社会	:資本総合整	備計画 社会資本整備総	总合交付金								令和05年02月27日	
計画の名	称 高松市大工町	· 磨屋町地区第一種市街地再開発事業整						,				
計画の期	間 令和04年	E度 ~ 令和 O 5 年度 (2年間)							重点配分	対象の該当	0	
交付対象	象 高松市											
計画の目	標中心市街地活	性化基本計画エリア内において、市街地	2再開発事業により都市機能 <i>の</i>	り更新、魅力ある都市空間 <i>*</i>	や住環境の整備等を、地	元まちづくり活動との連	携のもと推進し、	快適で魅力ある	中心市街地の再生を目指す。			
全体事	業費(百万円)	合計 (A+B+C+D)	88 A	88 B	0 C		0 効果促進事	C+D)	0 %			
				計	-画の成果目標(定量的:	指標)						
77						定量的指標の現況値及び目標値						
番号			定量的指標の定		当初現況値		直 最終目標値					
							R4当初			R5末		
1	丸亀町商店街の歩	行者等通行量を21,898人/日に増加させ	tることで、商店街のにぎわい	ハ創出を図る。								
	丸亀町商店街によ	ける歩行者等通行量					21586人	/目	人/目	21898人/	/目	
							'					
							<u>'</u>					
							<u>'</u>					
									•			
							l		_ ·			
		備考等		個別施設計画を含む -	国土強靱化を含む	一 定住自立圏を含む	」 - 連携中村	区都市圏を含む	- 流域水循環計画を含む	- 地域再生	上計画を含む -	

A 基幹事業																		
		事業	地域	交付	直接		種別1	種別 2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/			期間 (4		全体事業費	費用	個別施設計画
基幹事業 (大)	番号	種別	種別	対象	間接	事 兼有	作里万寸 1 	性別 2	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	R04	R05 I	R06 R0	7 R08	(百万円)	便益比	策定状況
			実施する	ることによ	り期待	される効果												
		備考			1	1												
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	高松市	間接	高松市大工	-	_	高松市大工町・磨屋町地	敷地の共同化: 0.5ha、都市	高松市					88	1. 1	-
						町・磨屋町			区第一種市街地再開発事	型住宅等の整備								
						地区市街地			業									
						再開発組合												
			1			L			1		1		1					
											小計					88		
														<u> </u>				
											合計					88		
											1 1 1 1 1						<u></u>	
											T							
																	<u></u>	
			1	Ι	1	T	I	1	I		T	1 1						
																	<u> </u>	
				1				1	ı									
																	<u> </u>	
								·	•									
			1	1	1	1		ı	1		ı	1			1 1		-	
	I	l .																

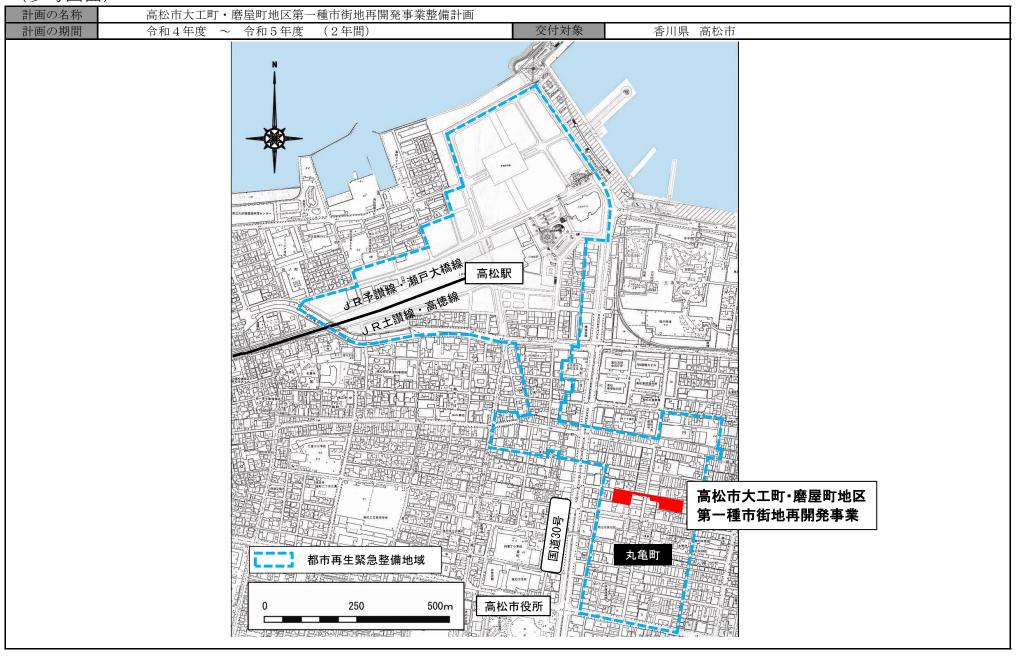
1

交付金の執行状況

(単位:百万円)

				(平位・ロカロ)
	R04	R05		
配分額(a)	57	31		
計画別流用増△減額(b)	0	0		
交付額 (c=a+b)	57	31		
前年度からの繰越額(d)	0	57		
支払済額 (e)	0	88		
翌年度繰越額(f)	57	0		
うち未契約繰越額(g)	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場				
合その理由				

(参考図面)



事前評価チェックシート

計画の名称: 高松市大工町・磨屋町地区第一種市街地再開発事業整備計画

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①関連する各種計画(中心市街地活性化基本計画等)と整合性が確保されている。	0
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	0
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	0
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	0
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	0
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	0
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1)十分な事業効果が確認されている。	0
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	0
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	0
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	0
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	0
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	0
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	0

案件番号:0000691646

事 前 評 価	チェック欄
III.計画の実現可能性	
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 3)計画について住民等との間で合意が形成されている。	0